

自然発火！

- 西日本防災システム

製品評価技術基盤機構の発表によりますと、乾燥機などで衣類を乾燥させている最中、内部で発火し、突然脱衣所から煙が出たなどの事故が2006年からの5年間に全国で161件発生しているそうです。うち1件では2人が亡くなる大火災に至っているようです。事故原因は、乾燥機自体に問題があった場合や利用者の誤使用や不注意によるものが多いのですが、周知されていない珍しい原因は、油分を多く含んだタオルや衣類の**自然発火**なんだそうです。

機械油、食用油、アロマオイルなどの油分を多量に含んだ衣類は、放置しておきますと、空気中の酸素と反応して**酸化熱**を発生させるんだそうです。洗濯時に油分を取り切らない状態で乾燥させますと、発熱源を残したまま水分が無くなることになり、火災のリスクが高まるんだそうです。NITE(製品評価技術基盤機構)は、「油は150 を超えると急激に酸化が進み、370 で自然発火するといわれているが、実証実験でもほぼ同様の条件で自然発火した」と発表しています。

このような事故はアロマオイルを大量に使うエステ・マッサージ業界で多発していて、経済産業省は再三業界に注意喚起を促しているそうです。

油が大量に染みだ衣類などは、洗い終わった後に重ねて放置せずに、天日干しして乾かさなければダメですね！

このほか、木材チップ、てんぷらの揚げ玉、肉骨粉なども時間の経過と共に化学反応を起こして発熱することが知られています。

参考



西日本防災システム

NISHINIHON BOHSAI SYSTEM Co., Ltd

<http://www.nbs119.co.jp/>



弊社top pageへ

